

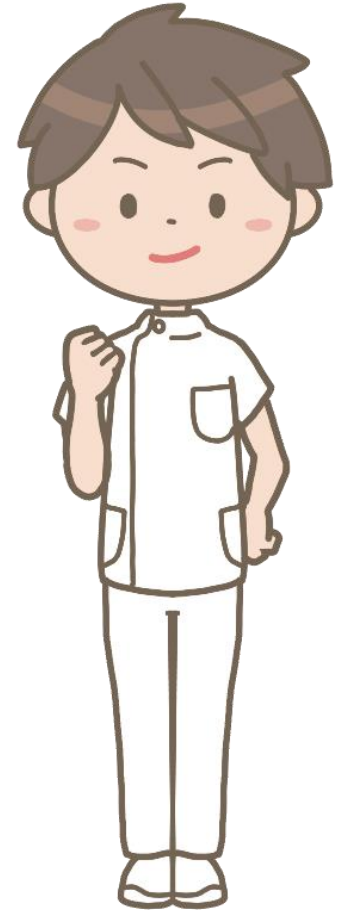
タスクシフト始めました

放射線技術科 三浦 篤



“ タスクシフト・シェア ”って？

- 医師に偏在している業務の一部を移管したり、共同実施すること。
- 医療従事者がそれぞれの専門性を生かせるよう業務分担を見直すことで、医師の負担軽減と同時にチーム医療の水準を上げることを目指します。
- 現在(2022年10月より)アイソトープ室で一部始めています。
→Tc心筋シンチにて、静脈路確保後の再注入



法改正(2021)により可能となる新たな業務

- 1) 造影剤を使用した検査やR I 検査のために静脈路を確保する行為、R I 検査医薬品の投与、終了した後に抜針及び止血を行う行為
- 2) R I 検査のためにR I 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- 3) 動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為
- 4) 下部消化管検査（CTコログラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為
- 5) 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為
- 6) 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

静脈路確保・薬剤投与する行為を特に進めています

静脈路確保研修プログラム

告示研修



4月の新人看護研修に参加



院内研修

(放射線治療科所属看護師による指導)



OJT

(放射線治療科所属看護師による指導)



実施(R5年度)



静脈路確保研修の時間数

	基礎研修	実技研修	
		映像	手技
①造影剤を使用した検査やRI検査のために、静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	200	20	110
②RI検査のために、RI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為	100	35	10
③動脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確保のためのものを除く)、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為	200	50	45
④下部消化管検査(CT コロノグラフィ検査を含む)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為	100	45	25
⑤上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為	100	15	30
	700	165	220
		385	

注射実技研修 日程と内容

1日目：4月8日(金)		2日目：4月11日(月)		3日目：4月12日(火)		4日目：4月13日(水)		5日目：4月14日(木)	
時間	内容	時間	内容	時間	内容	時間	内容	時間	内容
08:30~08:40	注射実技研修の目的、日程説明	08:30~08:40	前日の振り返り	08:30~08:40	前日の振り返り	08:30~08:40	前日の振り返り	08:30~08:40	オリエンテーション
08:30~10:00	注射に関する基礎知識 1.基礎知識(手技編、注射法) 2.注射技術チェックリスト 3.注射実技時の注意点 4.4段階における注射実技の手順 5.抗生物質投与時の観察 6.注射事故防止 (注射し過ぎ、血管損傷、血管造影システム) 7.尿検査薬物の投与	08:40~09:40	実技研修準備(アースキルト脱着)手技実習	08:40~12:00	演習 留置針使用の点滴注射 部屋ごとに分かれ、各ブースで手技を実施	08:40~09:00	留置針の採血 ナーシングスキームと実習	09:00~12:00	実技研修 留置針使用の点滴注射 ・チェックリストに基づき評価 ・合宿後は各病棟へ
10:00~12:00	演習① アンブル、バイアム扱い 演習② 筋肉注射	09:50~11:00	実技グループ毎留置針使用の点滴注射チェックリスト 組み合わせ 実習の取組、物品、準備などの説明	11:00~12:00	大塚実習 ビーフリード読取	09:00~12:00	演習 人体での採血(留置針) 研修生同士で実習 ①人形上で練習 ②人体採血		
12:00~13:00	昼休憩					12:00~13:00	昼休憩		
13:00~14:00	演習③ 下部消化管検査(CT コロノグラフィ検査を含む)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為			13:00~14:00	演習 留置針使用の点滴注射 部屋ごとに分かれ、各ブースで手技を実施	13:00~14:00	演習 留置針使用の点滴注射 部屋ごとに分かれ、各ブースで手技を実施	13:00~14:00	演習 留置針使用の点滴注射 ・チェックリストに基づき評価 ・合宿後は各病棟へ
14:30~16:00	インスリンの基礎知識 1.取り扱いは注意点 2.ペン型インスリンの取り扱いは実習 3.スケイディングスケール 4.NPH投与			15:45~16:00	片付け、机を片める				
16:00~17:00	献血実習の前後			16:00~16:30	注射実技の手本(演習) 採血、注射トナブル(実習時研修後の施設)				
17:00~17:15	片付け、まとめ	17:00~17:15	片付け、まとめ	17:00~17:15	片付け、まとめ	17:00~17:15	片付け、まとめ	17:00~17:15	片付け、まとめ

新人看護師研修プログラムの一部(黄色部)

告示研修：1085分

院内静脈注射研修：180分+技術評価

告示研修(実技)を受けて、見えてきたこと

患者説明のおぼつかなさ
駆血帯はずし忘れ

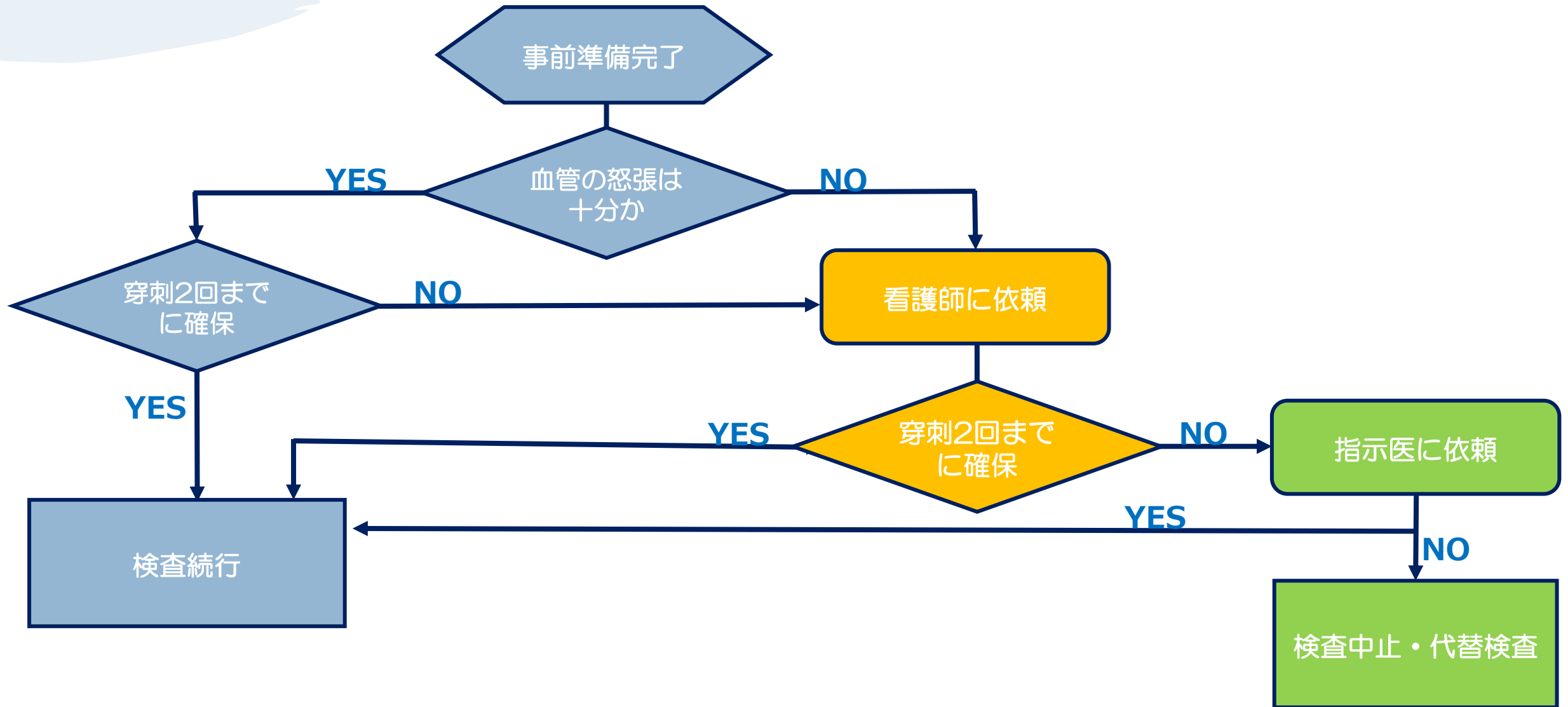
マニュアルに沿った模擬血管による静脈確保トレーニングの反復練習

個人間の技術の差

人体へ施行前の最終チェック（合格ライン設定）



放射線技師による静脈路確保のフローチャート



最後に

他科の理解と協力が必要

関係各科に告示内容を報告、教育・指導の協力を得る。

環境を整える

業務遂行時のトラブル(副作用、静脈確保困難)への対応策を決めておく。

資格を持ってやれるではなく、技術を持ってできるようにする

告示研修を受けたから翌日からやれるのではなく、さらに院内でトレーニングして安心してできるようにする。

よろしく
お願いします

